カメラリポート

お年寄りにお弁当を

4月20日、長岡東部地区で1人暮らしのお年寄りを対象に、給食サービスが始まりました。

これは、市が進める「ふれあいのまちづくり事業」の一環。同地区社会福祉協議会の呼びかけで、106人のボランティアが集まり「長岡東部給食セブン会」を組織し始めたものです。このサービスは、お弁当を届けることで、お年寄りとふれあい、さらに福祉サービスへの理解や、関心をもってもらおうと、毎月1回20日に行われるもの。

この日は、大町市長らも参加し、地区内に120人いる対象者のうち希望者25人に手作りの弁当を届けました。

半蔵の技を現代に

江戸時代、当時の最先端技術でからくり人形を作り、その設計図「機巧図彙」を記した南国市出身の万能科学者細川半蔵。その半蔵の思いを現代に生かし、文化と技術を探求しようと四月二十七日、「からくり半蔵研究同志会」の設立総会が開かれました。同会は産・学・官の連携により二年間でからくり人形の復元、「機巧図彙」復刻版の出版、市民向けの学習会などを行う予定です。

復元作業には高専、東工業、香ケ池中、少年少女発明クラブの子供たちを中心に編成した「浪漫工房」があたります。

5月3日から5日まで、明るい社会づくり南国市推進協議会が左右山の道の駅南国で、ゴールデン・ウィーク・ウエルカムサービスと銘打ち、県外ドライバーにお茶のサービスや、観光案内を行いました。

これは、観光客に楽しい旅をしてもらおうと行われたもので、アコーディオン演奏や、踊りでにぎやかにオープンした後、メロンの提供など南国らしいサービスがされました。

4月29日から5月1日まで、保健福祉センターを会場に南国盆栽展（日本盆栽協会南国支部主催）が開催され、展示された見事な作品の数々に、訪れたお客さんは足を止めて見入っていました。

同支部は会場で行われた即売会の売上げの一部を、市福祉事務所へ寄付しました。

春の全国交通安全運動期間中の5月12日、大篠保育所で交通安全教室が開かれました。アニメ映画や、地域安全推進員がつくった紙人形を使っての交通安全の呼び掛けの後、南国バイパスに出て、実際に交差点を渡ってみるなど交通安全の知識を深めました。

この教室は、4月から6月にかけて市内の各保育所、小・中学校で行われました。

音楽のまちにするぞー

4月22日、市内の小・中学校の先生らによって、市全体の芸術・文化活動の活性化を目的に「市芸術文化研究所」が設立されました。

県内で初めて音楽教育推進事業団「21世紀の会」から助成を受けるこの事業、第一段として「自ら音楽の楽しさを感じ、創造できる子供たちの育成」を目指し〝音楽のまちづくり〟をします。

2年後には、全国から大勢の音楽関係者を招き、研究発表会を開きます。生涯学習やまちづくり、人づくりを視野にいれたこの会、その成果が期待されます。

この日は幼稚園児や小学生の踊りと合奏も披露されました。

往年の名車ずらり

往年の名車約百二十台が集い、「南国土佐クラシックカーツーリング」が行われました。五月十四日、あいにくの曇り空にもかかわらず、スタート地点の南国市役所は、県内外から自慢の愛車を持ち寄ったオーナーらで、朝早くからのにぎわい。昔なつかしいスポーツカーや、めったに見ることができない珍しい名車で埋め尽くされた駐車場は壮観。

午前九時過ぎにスタートした各車は、高知市の日曜市、龍河洞を経由して、香北町の健康センターセレネへいたる約五十キロのコースを、クイズや記念撮影などを思い思いに楽しみながら、走り抜けました。

▼五月十四日、南国市立相撲場で火鎮祭わんぱく相撲大会が開かれ、市内外から二十八チーム、百四十八人の小学生が参加。大相撲顔負けの好勝負を繰り広げました。

▶四月二十九日、南国市囲碁クラブで市民囲碁大会が行われ、四十人の囲碁愛好者が囲碁を競い合いました。なお、各賞は次の通りです。▼市長杯＝濱洲亀喜▼議長杯＝佐竹賢充▼教育長杯＝池上国雄

▲5月14日、市民体育館を会場に、市長杯・議長杯バレーボール大会が行われました。参加した市内のママさんバレーボールチーム15チームに、和やかな中にも真剣なプレーで、コートせましとボールを追いかけました。

◀五月一日、大篠公民館で市民大学が開講（三十日まで）。高知割烹学校校長の高橋光さんの「健康って、うれしいですね」と題した楽しい講演に、参加した約九十人はメモを取るなど、熱心に聞き入っていました。